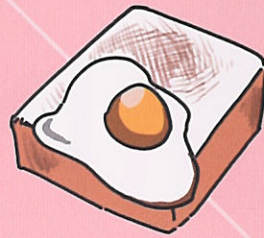


MIYATEEN XIII

日常の時間



宇都宮の高校生のための
読書情報誌 Vol.13



「たったひとつの冴えたやりかた」

(ハヤカワ文庫)



ジェームズ・ティプトリー・ジュニア／著
浅倉久志／訳
早川書房

コールドスリープからめざめた少女は、あこがれの宇宙にとびだす。だが、少女の頭の中にエイリアンが住みつく。2人は冒険の旅にでる。

感想

短編でつづられる2人の物語。困難に立ちむかい決断を下す姿にワクワクする。まさに王道。
(イオマンテ)

「和菓子のアン」



坂本司／著 光文社

食べることが大好きな杏子は、デパ地下の和菓子店「みつ屋」で働き始める。個性的な店長や同僚たちの中、歴史と遊び心に満ちた和菓子の奥深い魅力にはまってしまう。意味深なお客さんたちの謎を和菓子とともに解き明かす、美味しいお仕事ミステリー。

感想

読んでいる人を優しく、あたたかく包み込んでくれる、そんなお話です。読んであとはひとまず和菓子屋さんに向かって、それから新しい一日を始めましょう!!
(SALuT!)

「夢を叶えるための勉強法」



鈴木光／著 KADOKAWA

かつて東大王をはじめ、多くのクイズ番組に出演していた鈴木さんの初著書。彼女の学生時代の勉強法、休憩の仕方、おすすめの参考書など学校では知ることのできない情報が盛りだくさん!!

感想

東大生でもやっていることは基礎をベースにしているようです。文だけでなく適宜図表もあるので、読みやすいと思います。
(ふかせ)

「オルタネート」



加藤シゲアキ／著 新潮社

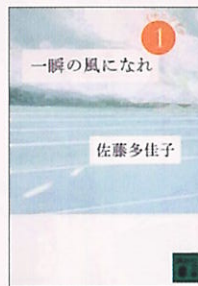
「オルタネート」とは、高校生限定のマッチングアプリのこと。今や必須の人気アプリとして確固たる地位を築いている。そのアプリによって出会いと別れ、葛藤と挫折を繰り返しながら、3人の運命が交錯する。青春をアプリと五感で表現した新世代の青春小説。

感想

加藤シゲアキ先生は青春ものの小説を書かれることが多いですが、その中でも特に高校生にしか出せない青春の輝きが存分につまっており、ぜひ高校生のみなさんに読んで欲しい小説だと思いました。
(波留)

「一瞬の風になれ 第1部 イイチニツイター」

(講談社文庫)



佐藤多佳子／著 講談社

サッカー一家に育った少年が高校入学を機に陸上部に転向。風変わりだが抜群の才能を持つ親友や走ることにはたすら熱い友人らと共に駆けぬけ、成長していく。

感想

読んでいると、運動が苦手な私でも走りに行きたくなるような本。青春小説の熱くギラギラした感じではなく、とても爽やかで読みやすく前向きになれます!
(ずんだ)

「ヒーローはイエスマン」(集英社文庫)



羽泉伊織／著 集英社

主人公木暮慧の唯一の取り柄は、理不尽な要求も「はい」と返答し、忠実にこなすこと。そんな彼は、他人のどんな願いも「イエス」と答えれば実現できる特殊能力を手に入れる。ある日、石量と名乗る男が現れてその力を使い、謎の調査に協力するよう頼まれて…!?

感想

誰かに指示されたり、頼まれたり。社会人は、学生である私達以上に、求められた際の責任は重くなるのだろう。この本のイエスマンのように、誰に指示をされても完遂できる能力が自分にもあればいいと思った。
(音)



「日本人の知らない日本語」

なるほど×爆笑!の日本語“再発見”コミックエッセイ



蛇蔵・海野凧子／著
KADOKAWA

日本語学校で教師をしている「なぎこ先生」とそこで日本語を学ぶ留学生たちのなるほど!&爆笑 ww のコミックエッセイ。どの巻から読んでも楽しめる。

感想

いつ読んでも面白く、何度も読み返しています。ためになるので、勉強の息抜きにもピッタリです。コミックなので、活字が苦手な人にもおすすめ。
(SALuT!)

「君の話」



三秋隼／著 早川書房

二十歳の夏、僕は一度も出会ったことのない幼馴染の灯花に恋をする。架空の記憶<義憶>を作ることができる世界で、義憶の中で恋した女の子が現実に現れる、嘘と真のSFラブストーリー。

感想

たとえ義憶の中の恋でも2人が記憶の中で幸せなら、それで良いのかもしれないと思いました。嘘に嘘が重なった、切なく儚い恋の話です。
(しゅん)

「ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー」



ブレイディみかこ／著 新潮社

優等生の「ぼく」が通い始めたのは、人種も貧富もごちゃまぜの「元・底辺中学校」。人種差別丸出しの美少年、ジェンダーに悩むサッカー小僧。世界の縮図のような日常を描くノンフィクション。

感想

日本で生活していると、よく考えることが少ない差別、偏見、格差。何が大切で正しいのか? 色々な事に気付かされる本です。親子で一緒に読んでほしい一冊!
(ずんだ)



「イズナくんは今日も、」



櫻いいよ／著 PHP研究所

イズナくんには縁が視える。人と人だったり、人と物だったり。目つきの悪い飯綱くんは、春日と出会う、少しずつ友達が増え、イズナの能力も強くなっていく。たくさん笑って、最後は全ての縁が愛しくなる日常譚。

感想

イズナが可愛い。とにかく可愛い。読んでいるこちらまで楽しくなってくる、その仲間に入れてもらいたい。そしてこの、おじいちゃんの言葉が沁みる。「迷ったときは、勇気があるほうを選びなさい。」(SALuT!)

「神のダイスを見上げて」



知念実希人／著 光文社

地球に向けて巨大惑星ダイスが急接近し、人類の滅亡まであと5日。人々はその瞬間「裁きの刻」をどのように迎えるのか。そんな中、漆原亮の姉、圭子は何者かに殺された。亮は犯人を見つけだし復讐しようとするが、そこに待っていたのは衝撃の結末で…。

感想

姉を殺した犯人を探すために色々な人に会うので、それを整理して、自分で予想しながら読むのが楽しい。最後の最後まで目が離せない展開で、すごく物語に引き込まれた。
(みや)

「あと少し、もう少し」(新潮文庫)



瀬尾まいこ／著 新潮社

中学最後の駅伝大会に向けて、部長の榊井はメンバーを募り練習をする。美術教師の顧問や、元いじめられっ子、不良、プライドの高い人、寄せ集めのメンバーで県大会を目指して奮闘する。

感想

話の一章、二章…が一区、二区…の人となっていて、駅伝の練習を始めてから、大会で次へつなぐまでのそれぞれのストーリーが楽しめる。何度も読み返してしまう話です。(梅おにぎり)

TEA TIME



Sweets

「決定版 世界のパン図鑑224」



大和田聡子／監修 平凡社
世界のパンの特徴や成り立ちを写真とともにわかりやすく紹介。

感想 本を開いたその瞬間からおなかがいってくる、そんな一冊です。パンの知識で世界を旅しよう！
(SALUT!)

「カフェかもめ亭」(ポプラ文庫ピュアフル)



村山早紀／著 ポプラ社
青を探すお客様は、前世で見た青を探していた。砂漠に咲きかけていた花の蕾の青。空のような青。あの花の色が、わたしの青色です。

感想 昔々の思い出の箱を開けるような物語です。小さな女の子を泣き止ませるための優しい嘘や、ロマンティックな人魚の恋まで。短編なので、本が苦手な人も手に取りやすい本です。
(ゆう)

「読書間奏文」



藤崎彩織／著 文藝春秋
著者が今までの人生で気に入った本を、自らの体験と重ねて紹介しているエッセイ本。短編。

感想 1つの本にたくさんの短い話が入っているので、すき間時間にぜひ読んでみてはどうでしょうか。読みたい本が見つからない人にも、ぜひこの本で新たな本との出会いを経験してほしいです。
(ふかせ)

「もものかんづめ」(集英社文庫)



さくらももこ／著 集英社
©さくらプロダクション

『ちびまる子ちゃん』で有名なさくらももこさんのエッセイ第1弾です！驚異の水虫撃退作戦、たった2か月のOL生活、恐怖の露出狂男との対面事件、銭湯でのコワイ体験。ちびまる子ちゃんとはちがった面白さやどこか人間臭い感じがクセになる1冊です。どんな人でも爆笑間違いなしと自信を持ってオススメです！

感想 ちびまる子ちゃんの作者さんが書かれたエッセイで、さくらももこさんの日常が親しみやすく綴られています。クスッと笑えるような1冊です。
(ホノカ)

「小さい人魚姫 アンデルセン童話集」(角川文庫)

アンデルセン／著 山室静／訳 KADOKAWA



人魚の王国には6人のお姫様がいました。その末の姫は、姉妹たちが15になって海の上にあがり、そこで見てきた海の外の話を誰よりも熱心に聞いていました。そして、末の姫がやっと15になり、海の上へ行くと、船の上にいた若い王子に恋をしてしまいます…。

感想 誰もが一度は読んだことのあつた物語。今、もう一度新しい感情を探して読んでみませんか？(ゆう)

「シャーロック・ホームズの冒険」

コナン・ドイル／著 延原謙／訳 新潮社



イギリスのロンドンを舞台に、探偵シャーロック・ホームズが友人のワトスンとともに、巧みな推理で事件の真相を解明していく。世代を超えて読まれている名作。

感想 イギリスならではの言いまわしに味があって、楽しめます。短編集なので、気軽に読み進めることができます。
(竜胆)

「偽恋愛小説家」

森晶麿／著 朝日新聞出版



有名な童話をモチーフにした殺人事件の謎をイケメン恋愛小説家と新米編集者コンビが解き明かす、ロマンティックな恋愛ミステリー!!

感想 きれいな童話に鋭利で黒い解釈をぶっこんでいく感じがとても爽快！本文に仕込まれたトリックにみごとに騙されてめちゃくちゃ面白い!!
(イオマンテ)

～ 誰そ彼時 ～ TWILIGHT

「完全版 地獄堂霊界通信 1」



香月日輪／著 講談社

「町内イタズラ大王三人悪」として、上院町内で知らぬ者はいない、てつし、リョーチン、椎名の三人組。三人悪さえる町はずれにある菓屋の極楽堂、通称「地獄堂」。しかし、いつからか地獄堂に入り浸り、おやじと親交を結ぶようになり、異世界に足を踏み入れることになる。

感想 町内でたくさんイタズラしてはたくさん叱られている三人悪を見ると元気をもらえるし、3人の純粋な心からの言葉は、高校生の私たちにも何か大切なことを教えてくれます。
(つきしろ)

「陰陽師 生成り姫」(文春文庫)

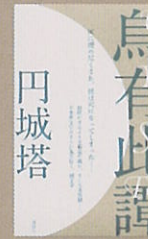


夢枕獏／著 文藝春秋

陰陽師シリーズの3巻「付喪神の巻」に収録されている短編「鉄輪」をリメイクして長編仕立てにした作品です。主人公の1人である源博雅と心身が半分鬼と化してしまった姫君を巡る切なくてドキドキするお話です。作品数が多い陰陽師の中でも特に読みやすい1冊なので、陰陽師シリーズを初めて読む方にオススメです！

感想 短編のお話は何話か収録されています。主人公の陰陽師安倍晴明の怪しい雰囲気大好きです。短編で読みやすいので、ぜひ読んで欲しいです。
(ホノカ)

「烏有此譚」



円城塔／著 講談社

雑多なもので埋もれつつある六畳一間に住む僕。その僕のもとに旧友から電話がかかってくる。

感想 連想ゲームのように色々な物事に考えが及び、何が何やらよくわからない。さらに註釈までついていて註釈から註釈に、もはや注釈が本文であるかのよう。しかし湧き上がる言葉が作る世界は広く深く面白い。何回も読んで楽しめ、読むことに味わいが増す、何とも不思議な本だ。
(イオマンテ)

「妖怪アパートの幽雅な日常 1」



香月日輪／著 講談社

中学一年生のときに交通事故で両親を亡くした稲葉夕土は、寮のある高校に入学することになったが、学生寮が火事で全焼し行き場をなくしてしまった。そこで不思議な声にさそわれて「寿荘」を紹介されたが、そこは人間でないものも暮らす妖怪アパートで…

感想 始めは妖怪と聞いて、ホラー!?!と思いましたが、本に出てくる個性豊かなたくさんの人の言葉はどれも生身の人間の言葉で、読み進めるうちに自分の中の常識がくずれていくのが感じられるはず。
(つきしろ)

「わたしを離さないで」(ハヤカワepi文庫)



カズオ・イングロ／著 土屋政雄／訳 早川書房

優秀な介護人、キャシーは「提供者」と呼ばれる人々の世話をしている。生まれ育った施設ヘルプシャムの親友トミー、ルースの介護をしながらなされる彼女の回想は、主人公たちに課せられた残酷な運命を明かしていく。

感想 主人公たちの、命を削ることでしか生きられない運命に悲しみと切なさがかみあがる。命を繋ぎたい、という当たり前の想いをかなえてあげられないわだかまりが深く心に残った。
(音)

「烏に単は似合わない」



阿部智里／著 文藝春秋

人間の代わりに「八咫鳥」の一族が支配する世界「山内」で世継の若宮の後継者が始まった。春夏秋冬を司るかのような姫君たちが思惑を秘め後の座を競う中、様々な事件が起こる…。

感想 美しい世界観で一族の思いや秘めた思いを背負い、四人の姫がどのような行動に出るのかに注目。
(秋桜)

「椿姫」(光文社古典新訳文庫)



デュマ・フィス／著 永田千奈／訳 光文社

十九世紀中ごろのパリで、高級娼婦マルグリットと青年アルマンは出会う。アルマンの思いにひかれていくマルグリットだが、アルマンの父の言葉から、身を引くことに…。愛する人と離れる時、人はどうなるのか。

感想 綺麗な言葉づかいや、ドレス等衣装の説明など、時代を感じやすい。また、当時の歴史的史実が書かれていて、学べることもある。
(梅おにぎり)



真夜中

MIDNIGHT

「君は月夜に光り輝く」(メディアワークス文庫)



佐野徹夜／著 KADOKAWA
大切な人の死から、なぜやんな人生を送っている僕。そんなとき、「発光病」で入院している少女、渡良瀬まみずと出会う。余命わずかな彼女の「死ぬまでにやりたいこと」を手伝うことによって2人の距離が近づき、僕の心境にも変化が。

感想 死ぬことについてすごくフォーカスした描写が多くて、考えさせられたことも多かった。お互いのために嘘をつくところや、まみずが生きたいと言ったとき、とても泣けた。(みや)



「ツナグ」(新潮文庫)



辻村深月／著 新潮社
「死者との再会」という夢のような願いを一度だけ叶えてくれる「使者(ツナグ)」。あるアイドルが大好きなOL、昭和の感覚が残った頑固親父、親友との絆が危ない女子高生、ギャルと結婚した真面目な会社員……生者である彼らは、死者との再会から何を感じ何を求めるのか、連作長編小説です。

感想 フィクションの物語なのに、本当にツナグは存在すると思ってしまうほどリアルな描写でした。ぜひ皆さんもツナグに会えたら何をしたいか考えてみてください。(べんたん)

「時給三〇〇円の死神」(双葉文庫)



藤まる／著 双葉社
ある日、高校生の佐倉真司は同級生の花森雪希から「死神」のアルバイトに誘われる。その仕事は、成仏できずにこの世に残る「死者」の未練を晴らし、あの世へと送ること。現実離れた話に不審を抱く佐倉だが、「半年間勤め上げると、どんな願いも叶えてもらえる」という話などを聞き、疑いながらも死神のアルバイトを始める。

感想 佐倉と花森のコントみたいなやり取りが面白い！また、「死者」と向き合うごとに成長していく佐倉の姿に勇気もらえる。(スギ)

「燃えよ剣 上・下」(新潮文庫)



司馬遼太郎／著 新潮社
幕末の激動期、武士になる志を胸に土方歳三は上洛する。將軍守護のために結成された新選組の副長として組織を統率し、倒幕派を制圧していく。しかし、時流は一気に倒幕へ。土方は北へと向かっていく。

感想 頁数が多く、読み進めるのが大変ですが、土方歳三の生涯が壮大なスケールで描かれているので、とても面白いです。(竜胆)



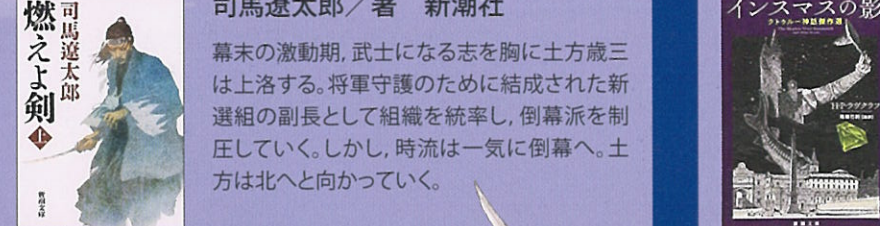
「美少年探偵団 きみだけに光かがやく暗黒星」(講談社タイガ)



西尾維新／著 講談社
ある探しの依頼をきっかけに、学園内に存在する「美少年探偵団」と関わるようになった瞳島眉美。彼女の探しの物とは、十年前に一度だけ見たことのある星。個性が強すぎる面々が繰り広げる青春ミステリー。

感想 「勉強は何のためにするの？」や「夢」などの身近な疑問をテーマに主人公が自分なりの答えを見つけて成長していく姿がとても心にひびく作品です。(秋桜)

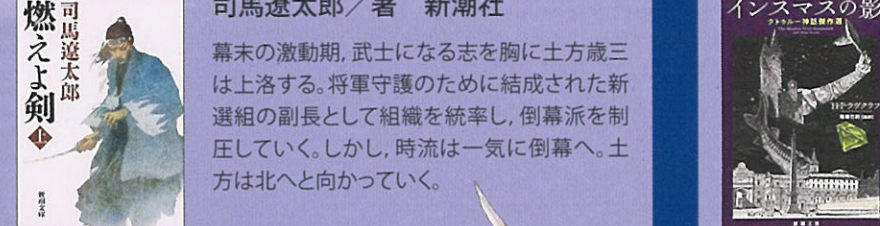
「インスマスの影 ―クトゥルー神話傑作選―」(新潮文庫)



H・P・ラヴクラフト／著 南條竹則／編訳 新潮社
アーカムの西にある「腐れが原」。そこは昔、豊かな農園だった。全てはあの隕石から始まった。不気味に光る柔い隕石は植物をねじれさせ、生物を脆く崩れる灰色にした…。(異次元の色彩)

感想 私が初めて読んだ時は、夜に読んではいけないと思いました。普段の日常にこんな恐怖が隠れていることを、貴方は信じますか？もしも貴方が正気であるならば、星の下では読まないことをおすすめします…。(ゆう)

「百年法 上・下」(角川文庫)



山田宗樹／著 KADOKAWA
20××年、人類はHAVI(ヒト老化停止ウイルス)によって不老不死となった。しかし、人口爆発により、国が不安定になり、「百年法」という100年で強制的に死なせる法律が作られようとしている。やがて謎の病も発生して…

感想 近未来の絶妙に現実味がある内容です。登場人物の心情が生々しくてスリルがあります。(ことり)



夜明け

DAY BREAK

START!

今の気分は？

サイコー！

元気ない

どこでリラックスする？

家

映画館

実写？非実写？

文系？理系？

文系

理系

実写

非実写

「アンネの日記 増補新訂版」(文春文庫)

アンネ・フランク／著 深町眞理子／訳 文藝春秋



第二次世界大戦中、アンネはユダヤ人であるが故に迫害された。そんな彼女は、キティと名付けた日記に自身の想いを書き綴ってゆく。

感想 少女らしい、まっすぐな感情を日記にぶつけていて、共感する箇所もあったし、かつの自分を重ねて、少し面映く感じる場面も。アンネはごく普通の少女だった、と実感した。(音)

「数学ガールの秘密ノート 場合の数」

結城浩／著 SBクリエイティブ



数学の問題をやさしくわかりやすく解説してくれている本。教科書レベルの問題ならこれでわかると思う。

感想 解説がわかりやすかったです。教科書レベルまでしか解説されていませんが、基礎的な数学の問題に困っている人におすすめしたいと思いました。(クレープ)

「聖の青春」大崎善生／著 講談社



幼い頃に重い病気をかかえた村山聖が時の名人の谷川浩司にあこがれて谷川をたおし、名人を目指す物語。

感想 重い病気をもっている聖がこんなにがんばっているのだから、自分はさらにがんばる必要があると思った。一部のところは将棋を知っている人でないと読めないが、ほとんどのところは一般人でも読め、話の内容はつかめると思うので、ぜひ読んで聖の人生を味わってほしいです。(クレープ)

「フィギュアスケートを100倍楽しく見る方法」

荒川静香／著 講談社



冬季五輪種目であるフィギュアスケートの不思議や疑問を、荒川静香氏が全て解決。わかりづらい採点ルールや選手の情報を詳しく解説してくれる。

感想 著者の体験談を交えながらの説明やイラストがあり、とても読みやすかった。フィギュアスケートの選手たちの努力をすごく尊敬した。(音)

「世界地図の下書き」朝井リョウ／著 集英社



両親を事故で失った太輔は児童養護施設「青葉おひさまの家」で暮らしはじめる。そこで出会った4人の仲間と家族のような関係を築いた太輔は大好きな願いとばしを復活させようと奮闘する。

感想 私たちが普段気づくことのできない大切なことに気づかせてくれる一冊です。今、本当に困っている人は勇気もらえるので手にとってみて下さい。絶対この本に救われますよ。(ふかせ)

編集委員紹介

EDITOR'S NOTE

ふかせ [編集長]

文星芸術大学附属高等学校

2年間編集長を務めさせて頂きました。



ことり [副編集長]

作新学院高等学校

3年間、ミヤティーンで活動させて頂けて嬉しかったです。



みや [副編集長]

文星芸術大学附属高等学校

学年と学校が違う人と本の話ができて楽しかった。



スギ [書記]

宇都宮女子高等学校

初めての経験でしたが、とても楽しかったです。



しゅん [書記]

宇都宮中央女子高等学校

3年間編集委員を務めさせて頂きました。楽しかったです。



波留 [書記]

宇都宮短期大学附属高等学校

3年間編集委員を担当させて頂き、貴重な体験ができました。ありがとうございました。



クレープ

[ページリーダー(夜明け)]

文星芸術大学附属高等学校

読みたい本が増えてよかったです。



ずんだ

[ページリーダー(昼)]

小山工業高等専門学校

自分では選ばない系統の本を知ることができて楽しかったです。



竜胆

[ページリーダー(TEA TIME)]

宇都宮中央女子高等学校

自分にとって、よい経験となりました。



梅おにぎり

[ページリーダー(誰そ彼時)]

宇都宮海星女子学院高等学校
自分の知らなかった新しい本と出会うことができました。



SALuT!

[ページリーダー(朝)]

宇都宮海星女子学院高等学校

2年目です。今年もたくさんの本と出会えました。



つきしろ

[ページリーダー(真夜中)]

宇都宮東高等学校

紹介文は大変でしたが、楽しかったです。



音

[ページリーダー(夜明け)]

宇都宮女子高等学校

とても楽しかったです。



ぺんたん

[イラスト(真夜中)]

石橋高等学校

久々にイラストを描きました。



イオマンテ

[イラスト(朝)]

宇都宮北高等学校

イメージをまとめるのが大変でした。



秋桜

[イラスト(表紙・誰そ彼時)]

宇都宮中央女子高等学校
イラストを担当しました。
楽しくやらせていただきました。



ゆう

[イラスト(TEA TIME)]

作新学院高等学校

新しい本を知ることができました。



ホノカ

[イラスト(昼)]

宇都宮白楊高等学校
初めて参加しましたが、雑誌を作るというのは新鮮でとても楽しかったです！
ありがとうございました！



編集委員募集

あなたも本の紹介をしてみませんか？
次号Vol.14でも高校生編集委員を募集します。
本好きの高校生の皆さん、ぜひご参加ください！
詳しくは中央図書館まで。

- ・ペンネーム
- ・役割[担当]
- ・学校
- ・感想

読めば
愉快だ
宇都宮

UTSUNOMIYA

宇都宮の高校生の
ための読書情報誌

MIYATEEN Vol.13

発行 令和4年1月 編集 MIYATEEN編集委員

ご意見・お問い合わせ 〒320-0845 宇都宮市明保野町7-57 宇都宮市立中央図書館 TEL028-636-0231



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。